

団体名

桃山学区防災ミーティング

団体概要

名古屋市緑区の桃山学区で、助け合いによる防災活動の取り組みをしている集まりです。今年で4年目を迎えています。

活動名

助け合い
の防災

大地震等による災害の時、備えが十分でなかったり、高齢化等により人が集まらず活動ができない心配があります。

私達は地域をつなぐミーティング（話し合い）の輪を使って防災態勢づくり、防災力の強化（人づくり）、助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

1 話し合いによる地域の理解と課題解決の取組

学区内の19町内会の皆さんと防災関係者が地域の防災について話し合う(全体ミーティング)取り組みをしました。コロナ禍のために深く理解し合うところまでには至りませんでした。が、「防災拠点づくり」など個別課題の解決に向けた取り組みをすることができました。

全町内会が一堂に集まらない状況への対応として町内会との個別ミーティングと防災責任者への戸別訪問により活動の継続を図る様にしました。

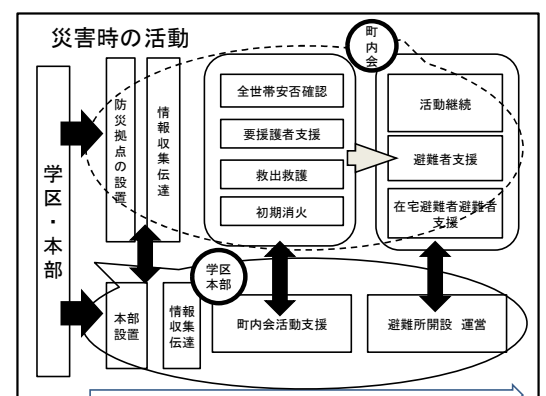


項目	内容
1. 計画の位置づけ	大規模災害時に防災活動を行うための最大限の組織体制
2. 計画の目的	災害発生時に迅速な対応を行い、被害の拡大を防止する
3. 計画の範囲	学区内全町内会、防災関係者、住民等
4. 基本方針	助け合いで防災の力を発揮する（自助、共助、公助）の考えを基本とする
5. 活動の組織	学区内は防災委員会、学区単位は学区本部が担担する
6. 災害時の活動	災害発生時に迅速な対応を行うための活動内容
7. 1. 初期対応	初期対応の組織、役割、連絡体制
8. 2. 防災拠点、本部の設置	防災拠点（町内会）や学区本部の設置から開始
9. 3. 情報のやり取り	防災連絡網の構築に基き情報伝達を確保
10. 4. 全町内会の防災計画	町内会、戸別訪問方式による、避難入りに対応
11. 5. 災害時支援者支援	戸別訪問時に支援者の役割を明確
12. 6. 救出・救護	救出・救護は支援体制によって実施
13. 7. 初期対応	初期対応を支援、連絡、情報伝達を確保
14. 8. 避難者支援	避難者は町内会の防災拠点で避難、記録、支援
15. 9. 避難所運営支援	学区本部の活動として避難所運営、運営
16. 10. 防災計画の実施	避難活動
17. 11. 防災計画の実施	災害発生、支援者支援等の資料収集
18. 12. 防災計画、情報伝達網の構築	防災拠点、災害時連絡網を構築
19. 13. 防災計画、学区本部の設置	防災計画の策定と実施
20. 14. 避難所の点検整備	避難所の点検整備の確保
21. 15. 防災計画の実施	避難活動に基き活動内容を点検
22. 16. 広域連携の確保	過半数、防災関係、安全等
23. 17. 学区内の防災活動	桃山学区防災委員会
24. 18. 計画の管理	計画の管理が必要
25. 19. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担
26. 20. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担
27. 21. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担
28. 22. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担
29. 23. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担
30. 24. 計画の管理	計画の管理は町内会防災関係者が担担

2 地域防災計画・マニュアルづくり

災害への備えを地域全体の取組にすることや活動を続けて行くための枠組として「地域防災計画とマニュアル」の整備と定着をめざしましたが、案を示して説明するところまでで時間切れとなりました。

この先は来年度の活動の中でしっかりと説明して浸透を図り防災活動継続の基礎となるようにブラッシュアップしていきます。



3

防災訓練、防災研修により備えを固める

防災活動を実践的なレベルに高めることや、活動内容の検証、経験を積むための取組として情報伝達訓練、総合防災訓練と防災研修を計画しました。

情報伝達訓練では連絡を受ける側を複数人体制にして確実性を高めることは出来ましたが「電話による連絡」の不確実性が議論になり、再検討が必要になりました。

総合防災訓練はコロナ禍を受けて中止にしました。

防災研修は学区本部員研修と町内会防災責任者研修の2本立てで行いました。

組織間の繋がりや災害時の役割分担、活動内容を明確化することで理解を得るとともに意識が高まる様にしました。



4

防災活動を通じて助け合いの環境づくり

災害の時には地域の助け合いで皆の命と生活を守ることをめざしています。

災害時の初動活動として「全世帯の安否確認」「災害時要援護者支援」を町内会や隣近所の助け合いで行うことにしています。

こうした災害時の助け合い活動を担保する方法として全世帯参加による安否確認訓練を毎年行い「助け合い意識」を育てることにしていますが、今回はコロナ禍を受けて実施に至りませんでした。

これからも防災訓練や防災調査等の積み重ねの中で助け合いの環境づくりの取組を続けることにしています。

桃山学区・防災訓練 全世帯配付

**安否確認訓練を
します**

9:00-10:30

令和4年2月13日(日曜日)

震度6弱の地震発生を想定し、全世帯を対象に
防災活動「安否確認」をする訓練です

今回は、皆さんの無事を確認するために町内会(自治会)のスタッフが戸別に訪ね、玄関先で安否確認させていただきます
ご協力をお願いします

*コロナウイルスの感染が拡大したときはいりません

◎学区内で同時刻に行う他の訓練(防災関係者が参加)

情報伝達・防災拠点づくり訓練 8:30~9:00
①町内会の防災拠点や学区本部を立ち上げる訓練
②町内会の防災拠点と学区の本部が情報やり取りする訓練
③町内会と学区本部が連携して活動する訓練

避難所開設訓練 9:30-10:30
指定避難所(桃小、神中、コミセン)を開通する訓練

訓練の取りまとめ 11:00-12:00
訓練の結果を今後に活かすための活動

実施主体 桃山学区内の防災関係者4団体
このチラシは桃山学区防災ミーティングが名古屋都市センターの協力を受けて作成し、お配りしています

只今、防災訓練中です

今日(2月13日)の訓練は、南海トラフ地震に備えるための安否確認訓練です

**安否確認に来
ました**

災害想定：南海トラフ地震や他の地震が発生、大きな揺れのために家屋の倒壊など心配されている想定です

訓練内容：町内会ごとに防災拠点を作り、皆さんの安全や助けあいを確認するための訓練を行います

安否確認：いづつ家の玄関先まで行っていただきます。協力をお願いします。

大人数で参加していただき、皆さんの安全を確認することが目的です。参加の場や場所には関係ありません。協力をお願いします。

桃山学区内の防災関係者4団体・主催

